

キラリ光る おらが村



数十年前に撮影された、地区住民の集合写真を指さし、「この人誰だか分かるかい」と尋ねる鈴木さん(右)



水田に稲の苗を手植えする写真、女学生たちがイナゴ取りをする写真など、昔の農作業の写真が多く展示されました

西館地区で歴史を振り返る写真展

町内の西館地区では昨年11月23日、同地区の八幡神社の祭礼に合わせて地区の歴史を振り返る写真展が開かれました。

この写真展は、同地区の石澤房明区長が企画。いなわしろ民話の会の会長などを務める、同地区の鈴木清孝さんが約40年間にわたって撮りためた写真のアルバムや展示にあたり借り受けた、たくさんさんのパネル写真が神社の中に所狭しと展示されました。

神事が終わると、展示してある写真について鈴木さんが解説。神社に集まった住民の皆さんは、振る舞われた豚汁などを口に運びながら、「懐かしいなあ」「こんな時代もあったんだな」と昔の農作業の写真を眺めたり、「この人、どこの家の人だろう?」と周りの人に尋ねたりしながら、地区の歩みに思いをはせていました。

笑顔でこんにちは



大好きなママ(後列右)、みんな(同左)、お兄ちゃん(前列左)と一緒に「ハイ、チーズ!」

「楽しく、笑顔の多い人生を歩んでいってほしいですね」。ママの悠加さんは、琳花ちゃんをやさしく見つめながら、そう話します。

長沼 琳花ちゃん

平成26年12月生まれ

～富永 大輔さん・悠加さん夫婦の長女

人懐こく、愛嬌たっぷりな琳花ちゃん。最近では走ることもできるようになり、「りんちゃんこーい」とお兄ちゃん・のぞくくんが呼ぶと、走って後を追いかけています。

「2人とも元気すぎて全然じつとしてないので、一緒に遊ぶのめなかなか大変です」。

そう話すママ、悠加さんの心強い味方が、パパの妹、みのりさん。琳花ちゃんたちはみのりさんのことが大好きで、家にいると「みんなみー」とべったりなのだとか。「よく面倒をみてくれるので助かります」と悠加さん。

たくさんさんの愛情に包まれ、すくすく成長中の琳花ちゃん。『子どもたちがもう少し大きくなったら、みんなで海やディズニーランドに行きたいね』とパパと楽しみにしています」と悠加さんは笑顔で話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

スクールピックアップ

吾妻小の6年生が震災について学ぶ

吾妻小学校の6年生は昨年12月10日、社会科の授業で町役場を訪れました。

東日本大震災発生直後の本町、本県や国の対応とそれぞれの連携、被災地に対する支援などについて必要な情報を収集するとともに、復興を進めるため、町議会条例、予算や税金などについて話し合っただけで、町役場を訪れた児童12人は、議場で町議会の一般質問を傍聴。町議会では、よりよい町にするために、震災からの復興に関することだけだけでなく、町のさまざまな政策や課題について話し合っていることを知りました。

その後、児童は別室へと移動し、町職員から震災による町内の被害と町の対応、町内に設置された避難所の様子や町外からの支援などについて説明を受けました。

この日役場を訪れた児童は、震災当時は1年生。今まで知らなかった当時の話に興味津々の様子で、メモを取りながら熱心に耳を傾けていました。



写真上 町議会の一般質問を傍聴する児童



写真右 東日本大震災の講話の時間に、カメラナが避難所として使われていた当時の写真を見る児童



小椋友恵さん 二瓶衣留さん

震災では近い地区で断水などの被害があったということを初めて知りました。

町のこれからのことについて議会で話し合っていることが分かりました。

いなわしろみらい会議 かわら版 No.3

我々が主体になって未来をつくりま

第3回目のいなわしろみらい会議は昨年12月10日、学びなで開かれました。

会議では、メンバーが4班に分かれてワークショップを行い、豊かな地域資源に恵まれた町の未来を描きました。

移住者が増えるだろうと考えた未来には、まちづくりに興味のある人たちが協調し合う場がつくられると予測したグループがありました。

また、農業人口の減少、耕作放棄地の増加という厳しい未来を見据え、だからこそ夢のあるブランディングを積極的に描いたグループ。

町の未来をつくる主体は、我々「いなわしろみらい会議」のメンバーである、自分たちが主体となり、東京オリンピックが開催される2020年までに、町に新しい観光マネジメント組織が誕生する未来を描いたグループ。

とにかく現場を知らなければ未来は描けないと、情報を集め、ニーズに合ったNPOを立ち上げようと訴えるグループには、



ワークショップの参加者全員が賛同すると手を挙げました。

未来から今を見ると、町が変わるポイントが見えてきました。

最終回となる今回の会議は1月16日、「未来像を具体的に描こう」をテーマに、今後10年の手の打ちどころはどこかを明らかにしていきます。

会議の詳しい内容は、町ホームページでご覧いただけます。

